

入賞作品紹介 ②

【中学生「子の部」最優秀賞】

「新聞おばあちゃん」

白河市・白河中央中1年(現2年)

薄井 結花さん 13

私のおばあちゃんを読んでいるおばあちゃん、よく新聞を読んでる。今日も変わっている。コーヒーを飲みながら読んでいます。よおまじろい?」って聞くと、オシャレなきさで、新聞を読んでる女の人みたいでカッコイイ。

ある日、おばあちゃんの家に行ったら、あい変わらず新聞

は、読み手があきないために。いっぱい情報のような工夫だらけ。次得るために。の日から、ポストにある新聞を見るときは私の役目。一番最初に見る

手にコーヒー持って、新聞楽しく読み始める。あのおばあちゃんみたいに見えるかなあ。

私も母にならない子どもたちの誕生日の新聞を保存してあります。まだ渡していませんが、いつか私の誕生日の新聞も一緒に広げ、家族みんなそれぞれ歴史を振り返りながら成長を認め合う時が来るのを楽しみにしています。

【中学生「親の部」最優秀賞】

「新聞はタイムマシン」

白河市 都築 啓子さん 44

もう二十年以上前の二十歳の誕生日、私は母から三日分の新聞を渡されました。かなり色あせた紙面から、古新聞であることはすぐに分かりましたが、

紙面を広げた瞬間、まさに自分が誕生した時へと時間旅行をしたような気持ちになったことを今でもよく覚えています。所々黄ばんでいますが、広告のデザインや番組欄は逆に目新しく、自分が歩んできた時の流れを一緒に再体験したような感覚です。

